

2014年度 産業廃棄物処理施設の維持管理状況の情報の公表

設置者名称	新潟環境開発株式会社
施設名称	産業廃棄物中間処理施設
設置場所	新潟県小千谷市大字岩沢字田代4247-1
問い合わせ先	0258-86-2751

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

（産業廃棄物処理施設の維持管理等
法第十五条の二の三第二項 次の産業廃棄物処理施設の設置者は、当該産業廃棄物処理施設の維持管理に関する計画及び当該産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報であって環境省令で定めるところにより、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。）

1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項

別紙のとおり

2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

（公表すべき維持管理の状況に関する情報）
第十二条の七の二 法第十五条の二の三第二項の環境省令で定める事項は、次の各号に掲げる施設の種類のうち、当該各号に定める事項とする。

環境省令の該当する号	施設の種類の種類	公表事項
第一号	焼却施設（ガス化改質方法の焼却施設及び電気炉等を用いた焼却施設を除く）	以下のとおり

イ 処分した産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

(単位: kg) 2014年度

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
汚泥	20,015	15,893	12,454	19,122	13,953	9,913	11,628	7,763	18,271	8,808	9,673	21,635.5
廃油	36,280	45,482	35,230	15,196	50,965	37,730	69,040	33,106	44,836	17,714	36,267	18,760
特管廃油	13,710	19,519	10,520	18,820	13,565	20,450	15,700	17,900	27,098	14,880	12,090	25,205
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	90	0	0	0	590	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	713,820	638,177	647,035	762,500	419,455	597,573	754,696	715,162	631,980	717,585	745,970	776,050
紙くず	1,710	260	355	5,650	3720	140	120	1,050	320	330	0	1,085
木くず	194,020	114,640	121,085	162,590	75240	111,550	221,820	151,960	219,950	67,410	58,420	150,905
繊維くず	280	1,700	150	2,360	180	3,780	3,110	0	730	0	0	1,340
動植残渣	47,320	44,030	29,830	36,120	69050	27,480	44,220	37,440	41,250	27,990	35,190	50,379.0
ゴムくず	2,420	3,110	2,310	3,830	1480	4,400	3,120	2,230	2,580	2,490	2,090	3,960
金属くず	2,950	2,020	1,200	3,200	380	5,960	6,130	2,620	2,260	1,300	350	250
ガラスくず及び陶器くず	3,225	590	2,605	3,060	4530	6,175	4,030	1,870	7,660	2,585	1,080	4,670
感染性廃棄物	16,160	17,875	16,180	17,475	17150	16,500	18,870	15,550	16,490	16,110	15,842	16,805

ロ 測定に関する事項

現在2013年度のダイオキシン類などの測定日と同日のデータを掲載しております。

温度の測定に関する事項	測定を行った位置	測定の結果を得られた年月日	測定の結果
燃焼室中の燃焼室の温度	フローシート、A	平成26年10月16日	813 [°C]
集じん器に流入する燃焼ガスの温度	フローシート、B	平成26年10月16日	180 [°C]
煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度	フローシート、C	平成26年10月16日	34 [ppm]

ハ 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去を行った年月日

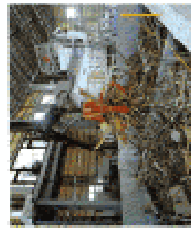
平成26年度	冷却設備	2014年度 排ガス処理設備
1月	5,6,7,8,9,13,14,15,16,17,19,20,21,22,23,24,26,27,28,29,30,31	5,6,7,8,9,13,14,15,16,17,19,20,21,22,23,24,26,27,28,29,30,31
2月	2,3,5,6,7,9,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28	2,3,5,6,7,9,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28
3月	2,3,4,5,6,7,9,10,11,12,13,14,16,17,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30,31	2,3,4,5,6,7,9,10,11,12,13,14,16,17,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30,31
4月	1,8,9,10,12,13,14,15,16,17,19,21,22,23,24,26,27,28,29,30,31	1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,12,14,15,16,17,18,19,21,22,23,24,25,26,28,29,30,31
5月	1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,12,14,15,16,17,18,19,21,22,23,24,25,26,28,29,30	1,7,8,9,10,12,13,14,15,16,17,19,20,21,22,23,24,26,27,28,29,30,31
6月	2,3,4,5,6,7,9,11,12,13,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30	2,3,4,5,6,7,9,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30
7月	1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,14,16,17,18,19,22,23,24,25,26,28,29,30,31	1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,12,14,15,16,17,18,19,22,23,24,25,26,28,29,30,31
8月	1,2,4,5,6,7, 22,23,25,26,27,28,29,30	1,2,4,5,6,7,22,23,25,26,27,28,29,30
9月	1,2,3,4,5,6,8,10,11,12,13,16,18,19,20,22,24,25,26,29	1,2,3,4,5,6,8,10,11,12,13,16,18,19,20,22,24,25,26,29
10月	1,2,3,4,6,7,8,9,10,11,14,15,16,17,18,20,21,22,23,24,25,27,28,29,30,31	1,2,3,4,6,7,8,9,10,11,14,15,16,17,18,20,21,22,23,24,25,27,28,29,30,31
11月	1,4,5,6,7,8,10,11,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,25,26,27,28,29	1,4,5,6,7,8,10,11,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,25,26,27,28,29
12月	2,3,4,5,6,8,9,10,11,12,13,15,16,17,18,19,20,22,23,24,25,26,27,29,30	2,3,4,5,6,8,9,10,11,12,13,15,16,17,18,19,20,22,23,24,25,26,27,29,30

二 前条第五項の規定によりその例によることとされる第四号の五第一項第二号の規定による測定(令第七条第十二号に掲げる施設にあっては、前条第五項代二号及びハの規定による測定を含む。)に関する次に掲げる事項

2014年度のダイオキシン類などの測定は未定です。現在2013年度のデータを掲載しております。

排ガスの測定に関する事項	測定に係る排ガスを採取した位置	測定に係る排ガスを採取した年月日	測定の結果の得られた年月日	測定の結果
排ガス中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フロースート、F	平成26年10月16日	平成26年12月1日	0.23 [ng-TEQ/m ³ ·N]
焼却灰中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フロースート、E	平成26年10月16日	平成26年12月1日	0.0028 [ng-TEQ/g]
ばいじん中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フロースート、D	平成26年10月16日	平成26年12月1日	0.032 [ng-TEQ/g]
ばいじん濃度	フロースート、F	平成26年10月16日	平成26年10月28日	0.009 [g/m ³ ·N]
窒素酸化物濃度(換算値)	フロースート、F	平成26年10月16日	平成26年10月28日	72 [ppm]
硫黄酸化物濃度(換算値)	フロースート、F	平成26年10月16日	平成26年10月28日	<0.5 [ppm]
塩化水素濃度(換算値)	フロースート、F	平成26年10月16日	平成26年10月28日	3 [mg/m ³ ·N]

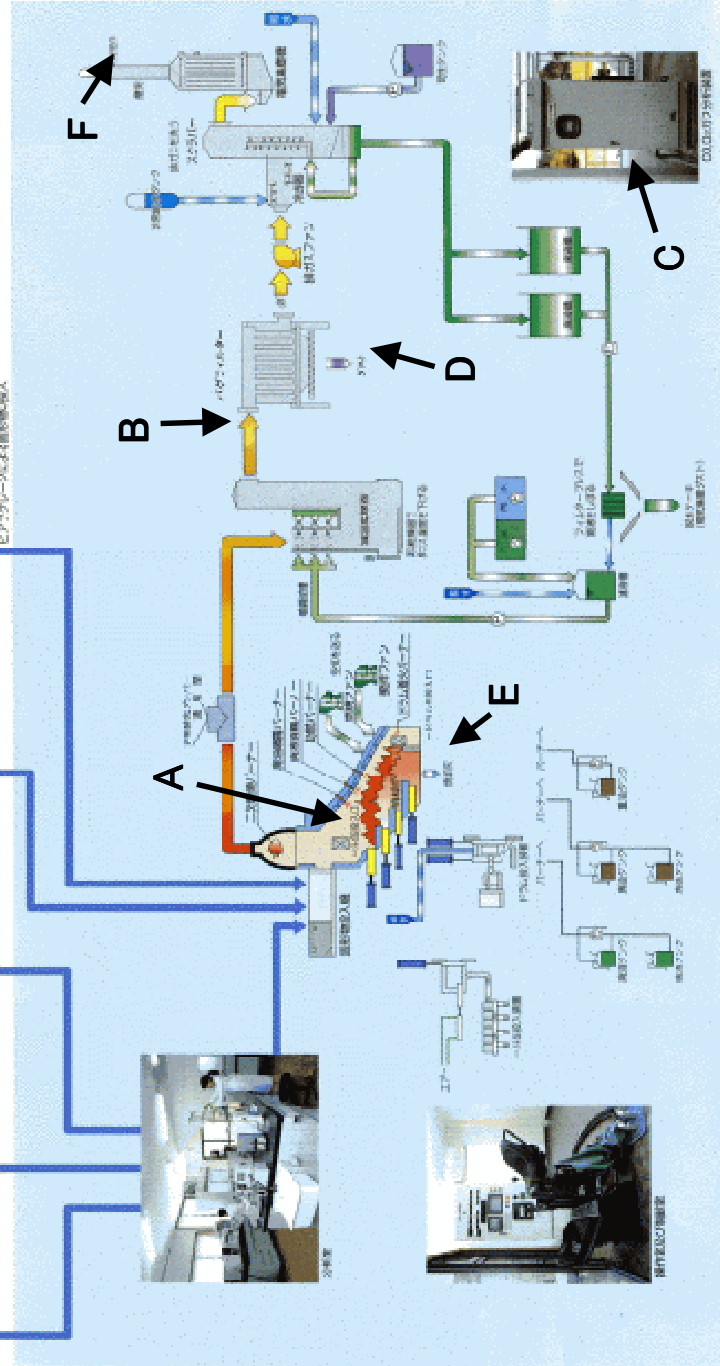
産業廃棄物の処理フローシート



● 固形物ピット
廃アスファルト、コンクリート、水泥石灰、ボスクリン酸化物、燐酸、硫酸、各種酸、各種油、各種有機物



図1 水質浄化施設



● 減速乾燥機
二次燃焼室と燃焼室に掛けられる熱ガスを回収し、燃焼室の熱を回収して水を加熱し、蒸気発生機を稼働させます。



● バグフィルター
燃焼室の排気ガス中の塵埃を捕集し、サイクロン分離機、集塵機を駆動させます。

● スクラバー集塵装置
排気ガス中の酸性成分を中和し、排気ガス中の塵埃を捕集します。

● 湿式電気集塵機
燃焼室からの排気ガス中の塵埃を捕集し、サイクロン分離機、集塵機を駆動させます。

● CO₂ガス分給装置
燃焼室からの排気ガス中のCO₂を回収し、排気ガス中の塵埃を捕集し、サイクロン分離機、集塵機を駆動させます。

● 分析
原子吸光光度計、ガスクロマトグラフ、分光光度計、酸度計、pH計、COD測定機等を運用し、廃棄物の成分、燃焼性、燃焼熱、燃焼温度、燃焼速度、燃焼効率、燃焼残渣の成分等を測定し、燃焼処理の最適化を図ります。

● 排ガス対策
燃焼室の排気ガスは、二次燃焼室において燃焼処理し、排気ガス中の塵埃、酸性成分、有害成分を除去し、大気中に排出します。

● 臭気対策
燃焼室の臭気は、二次燃焼室において燃焼処理し、排気ガス中の臭気成分を除去し、大気中に排出します。

● 汚水対策
燃焼室の汚水は、クロロスチスチン酸を投入し、汚水処理装置で処理し、大気中に排出します。

● 灰処理 (もみかき)
燃焼室の灰は、自社の処理場で処理し、大気中に排出します。